

# 舟入高校20期同期会便り

2006年7月(第9号)

同期会ホームページ <http://funairi.hp.infoseek.co.jp/>

## 第9号発刊に寄せて 末田義博(同期会 会長)

同期生の皆さん、元気でお過しのことと思います。今まででは考えられない凶悪事件等、異常な現象が勃発していますが、今年も無事発刊できたことをうれしく思います。

万象全ての生命体は、1年経てば確実に1つ年を重ねていきます。子供の頃に比べ、1年が早く過ぎていくと感じる今日この頃ですが皆さんは如何ですか。感動する回数が減るに従い、振り返ってみると時が早く経つ感覚になってしまうようです。出来るだけ自然に触れる時間を多く持ち、自然と素直に向き合うことにより、感動する心を取り戻そうではありませんか。

今年は、3年振りに同期会を開催いたします。久しぶりに旧交を温めましょう。多くの参加を期待しています。

昨年、同窓会では被爆60周年記念事業として被爆60周年「慰霊の記：証」を作成致しました。慰霊の歴史、胸に迫る被爆体験、在校生の平和への取り組み等、写真を多く盛り込んだ読み易いものになっております。

ご用命の際は、同窓会事務局又は末田までお申し付け下さい。

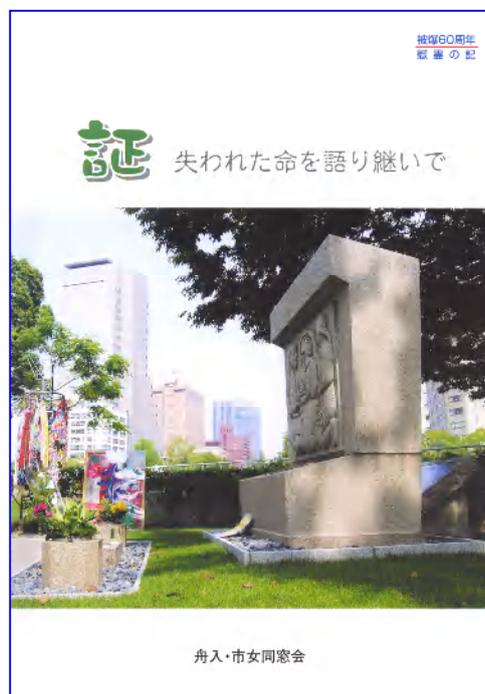
さて、私は同窓会副会長2年目を迎え、今年同窓会総会担当となりました。これまで以上に同窓会への多数の参加をお待ちしております。

同窓会理事をして頂いている岡崎研児さんが4月に長崎へ転勤されたため、後任として中原信明さんに理事としてご活躍いただくことになりましたのでご報告いたします。

また、同窓会総会運営に対して、同期の方々から多くの広告・協賛金にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さらに、同窓会では、ホームページの作成、文化祭での同窓会ブースの開設等新たな試みもなされております。

20期の同期会活動は、最も活発な期として同窓会から注目されており、同窓会費についても最も納入額が多くなっています。ひとえに、同期生の皆様の協力によるものと心から感謝しております。引き続き、同期会、同窓会活動に格別のご支援の程、重ねてお願いいたします。



同窓会関係資料についての問い合わせ先

舟入・市女同窓会事務局(舟入高校内) TEL 082-532-9633

事務局長: 豊島俊彦 E-mail: funairi-ichijo-dosokai@diamond.broba.cc

毎週月、金曜日 13時～17時開局

## 31年ぶりに広島に！

(3年11組) 米丸(旧姓 平岡) さちよ

結婚と同時に広島を離れ、大阪の高槻に7年、京都の城陽に8年、水戸に16年と、主人の転勤と共に移り住みました。

その間一人で帰広した折には、バスの後ろの席のおばさん達の会話に耳をそばだて、石川啄木の気分になったこともあります。

3年前より主人は広島で单身生活を送っていましたが、転勤のない会社に再就職したのを機に、私は31年振りに広島に帰って来ました。

広島に帰りたいという気持ちはずっとありましたが、子供の友人のお母さん達や、近所の方々、花友達との別れ、習い事を途中でやめなければならないこと、又子供達が暮らしたことのない広島に来てくれるだろうかという不安等々、いろんな葛藤がありました。

そんな思いの中で帰った広島は、山の中腹まで家が建ち、空き地はなくなり、知らない大きな道路が増えていました。でも、川だけはあまり変わっていませんね。清流を湛えた太田川を見ると、広島に帰ってきたんだなあ実感します。そして、気兼ねなく広島弁で話せること、同期会などに心置きなく参加できること、広島風お好み焼きが鉄板で食べられること、姉や兄等肉親と時々会えること(母は15年前に亡くなりましたが)など、嬉しいことがいっぱいありました。

引越しの時に、かなりの鉢植えを何人もの人に貰って頂きました(半ば押し付け)。そして可能な限り持ってきました。気候が違う(特に夏の暑さは厳しいね)ので根付くのかどうか心配でしたが、殆んどが何とか根付いてくれました。一年経ち、咲いた花を見るとこれは〇〇さんにもらった花、これは△△さんにあげた花、水戸で元気に咲いているかなと思い出します。「頂いた花がきれいに咲きました」と写メールが入ることもあります。

現在4人の子供達(全員独身)は東京、広島の府中、水戸、すねかじりの末っ子は京都とバラバラに住んでいますが、今年のお正月は4人が広島に集まってくれたので一安心。

私は、通学・通勤の思い出が深い可部線沿いに主人と暮らしています。小さな庭のわずかな花と野菜と一緒に。

あっそうだ、知らない間にカープファンになってしまっていました！



平岡 さちよ



**同期の友人からメールが届いた** (3年6組) 中村 美枝子

同期の友人からメールが届いた。 55歳を迎え、第一線を退き、既に第二の人生を歩み始めたそう。羨ましいな。自分の人生に線引きできるとは。いやいや、羨ましがってばかりもいられない。もうそんな歳なのだと、改めて思い知らされる。気持ちだけは、いつまでも若いつもりだけれど、実際のところ、体調を崩すと年齢を実感せざるを得ない。長時間のデスクワークがたたり、重度の肩こりを誘発して、一時は首を下に向けることすら出来なかった。



中村美枝子



又、ちょっとした動作が膝の靭帯をひどく傷つけ、家の中でも杖なしでは移動することすらままならなかった。両方とも去年の夏前後の出来事にもかかわらず未だに全快はしていない。

ふと気が付くと、老人がすること、と思っていた病院通いが日課のようにになっている。

あーあ、歳を取るとはこういう事なのか…

実は、私も30代の頃は、55歳をひとつの区切りと思い、それを目標にしていた。何故55歳なのか。何と言うことはない。世間で定年が60歳、65歳といわれているなら、少々早めにのんびり暮らそうか…という横着で贅沢な考えからだ。

\*\*\*55歳の私=どこか暖かい所のプールサイドで午後の陽溜りを楽しんでいる\*\*\*という構想だ。だけど、ちょっと待て。 実はこれを書いている今日、私も55歳を迎えたけれど、実際にはそう簡単にシナリオ通りには行きそうにもない。第一、そんな生活、今考えるとあまりに年寄り臭い。もうちょっと先に延ばしてもいいか。 体は年相応かもしれないが、気持ちのほうはまだまだ若いつもり。それに、今年やっと成人式を迎えた息子がいるのだ。成人とは言うものの、わが息子も世間並みにしっかり親の脛をかじりながら自分の夢を追っている。親元から離れているものの、長〜い〜その緒が付いている。ま、甘えられる時に甘えておけばいい、と思っている。

人生、長いようでも、過ぎてみれば何のことはない。あっという間だ。これまでは、マイペースながら仕事も遊びも全力投球でひたすら走り続け、そして何かしらはっきりとはしない結果を求めて生きてきた。今ある私がこれまでの結果だとすれば、これからの私は、何をしてどう生きればいいのか、自分に問いかけている。

なんとも頼りない私。 もうしばらく頑張るためにも、ここら辺でペースダウンしたほうがいいかな。細く長く、ということで。

私たちの生きてきた時間の中で、特にコンピューター分野の進歩は目覚しく、ついこの前までは手紙や電話が通信の主流だったはずなのに、今ではそんな事もインターネットが、いとも簡単にしてくれる。又、デジカメが市場を席卷し、ついにカメラは過去の産物となろうとしている。文明の利器は確かに便利で私も役立たせてもらっているものの、しっかり置いてけぼりも食らっている。これって、歳のせいにするのは卑怯かな？

でも、今更焦ることもないだろう。 私は私らしく、マイペースで人生を楽しもう。

## 20期生の皆さん こんにちは！

(3年10組) 猪原 伸正

早いもので卒業以来37年が過ぎました。  
皆さん、各方面でご活躍のことと思います。  
今回原稿の依頼があり、私のその後の出来事や雑感・近況を  
報告します。



猪原 伸正

### <その1 高校時代の思い出>

- ・ **剣道班**：宮島・中佐・大田。内田君と最後まで残った。  
予選リーグは勝ち上がるものの、誇れる戦績はなく残念の一言。  
蒸し風呂の体育館と公費で三次によく行ったことの思い出。
- ・ **自転車でのツーリング**：昭和42年8月、呉原君と九州へ。「やまなみハイウェイ」を走破（船中泊を含め4泊）。阿蘇山で国語の中野先生と会ったのにはびっくり。地元の人々の暖かい人情に触れる。  
昭和43年3月、辻・壇上君と岡山・倉敷へ（2泊3日）。後樂園・大原美術館を見学。見識を広める？
- ・ **大山登山**：昭和42年10月、西本君と大山登山。霧の中を縦走。足のすくむ思いであった。  
早朝に広島に帰ったので、「授業」はもちろん就寝中となりけり。  
他にもスキー・映画鑑賞など、よく遊んだ。高校時代万歳！

### <その2 大学時代>

同級生は福間君ただ一人のK大学へ。柄にもなく勉学の「中小企業研究会」へ入部。  
バイトを兼ねて産学協同で「生産管理」を学ぶ（生産性重視・高度経済成長の真っ只中）。  
R大学に進んだ中佐君の剣道の試合に応援に行ったことがある。しかし、行くのが遅かったのか？  
試合は既に終わっていた。彼の名誉のために一言、現在も剣道を続けていて最近五段を取っている。  
すばらしい男である。

### <その3 社会人>

就職したのは地元広島の銀行です。河相・大亀・伊桐・沖本君と一緒にだった。  
古市を皮切りに大手町・広・岡山南・本店・己斐と転々とし、最後は単身赴任となった瀬戸田にいた。  
広ではK社に片岡君がいて、地元広島を離れての活躍に大いに刺激を受ける。  
平成2年7月より広島に帰った。やはり地元はいい。同級生にもよく会える。石川・植木・河相・片岡・  
西本・渡辺君らと年2回飲み会をもっている。1年7組のメンバーが中心で、十数名の会となっている。  
瀬戸田ではとうとうと時間が流れ、多島美と海の幸を満喫。  
「しまなみ海道」の観光スポットなら情報提供OK。

### <その4 山とのかかわり>

最近は中高年の登山ブームもあり  
皆さんも「山」を楽しんでいると  
思います。私は20歳後半から  
会社の山岳部に所属し、よく山に  
行くようになった。  
九重山群には春・夏・秋・冬と十数回  
行っている。  
6月に咲くミヤマキリシマは殊更  
きれいだ。また、疲れを癒してく  
れる温泉があるのもいい。



家族とは大台ヶ原・大杉谷にも行った。大杉谷にはたくさんの滝があり国内有数の溪谷だと思う。山のすばらしさは山頂から見る「日の出」「雲海」それに達成感だと思う。可憐な高山植物の美しさも魅力だ。

山岳部で幹事をしていた関係で、広島県山岳連盟からの要請でボランティアとして平成8年「広島国体」の山岳競技役員をし、校訓「……人のために生きる」を实践(?)することができた。ここ数年は、年に一度程度「石鎚山」に行っている。年々衰える体力のチェックとしても有効である。

### <その5 近況>

平成15年8月より、第二の職場として南吉島にある(株)シンギにお世話になっている。慣れない人事・総務の仕事をやっています。

高陽町に住まいを持ち、女房・娘と3人暮らし、時折犬を散歩させている菊本君を見かける。

近くに息子夫婦が住んでいる。

平成15年10月に孫が生まれ、おじいさんの仲間入りと相成った。

ご一報いただければ幸いです。



#### 第30回広島市立第一高等女学校職員生徒原爆死没者慰霊式典

日時：平成18年8月6日(日)午前10時～

場所：平和大橋西詰 広島市立第一高等女学校慰霊碑前

主催：広島舟入市女同窓会

#### 第29回 舟入・市女同窓会

とき：平成18年8月19日(土)16:00～(受付15:00～)

ところ：広島全日空ホテル

かいひ：7,000円

\*チケット購入等詳しくは、末田義博(090-8067-0123)までお尋ねください。

### 20期同期会の開催予定

我々20期同期会を平成18年11月3日(金)18時から開催します。

10月には詳しいご案内を差し上げますので、挙ってご参加下さい。

**釣り仲間** (3年10組) 渡辺 潔

同期生の河野(旧姓 山本)慶慈君(3年13組)と再会して早5年、互いに自分を曲げず 自己主張ばかりの楽しい付き合いを続けています。

特に、釣りは互いの趣味が合い、年間20回位一緒に遠くは佐多岬沖での関あじ・関さば、浜田でのイカ釣り、近くでは周防大島や大野でのメバル釣り、時には川でのヤマメ釣り等をしています。同期である三永昭雄君の船で釣行したり、牡蠣養殖(樋上水産)をしている樋上好則君に船で無人島に渡してもらったこともあります。船釣りも楽しいのですが、何といても磯から電気浮きでのメバル釣りに尽きます。出来るだけ仕掛けが絡まずに遠くに飛ぶよう工夫し、互いに自作の仕掛けを自慢し合い、釣果が思わしくないときは潮や月明かりのせいにして自分の腕前は不問です。

不思議なもので、二人揃って大漁ということが少なく、片方が釣れば他方は惨めという状況が多く、表面上は互いに慰め合うものの 心密かにリベンジを誓っています。

指もかじかむ真冬の深夜、浮きが海中に引き込まれるのをひたすら見つめている姿は、釣りをしない人にとっては物好きとしか思えないでしょうが、多くのストレスを受ける毎日、頭の中を空白にして魚のことだけを考えて過ごすこの時間は何物にも代えがたいものです。

ただ、我々も五十半ばを過ぎ、下半身の諸々の衰えを実感せざるを得ない今日この頃ですので、岩場やテトラでの事故に十分注意しながら楽しい釣行を続けたいと思っています。



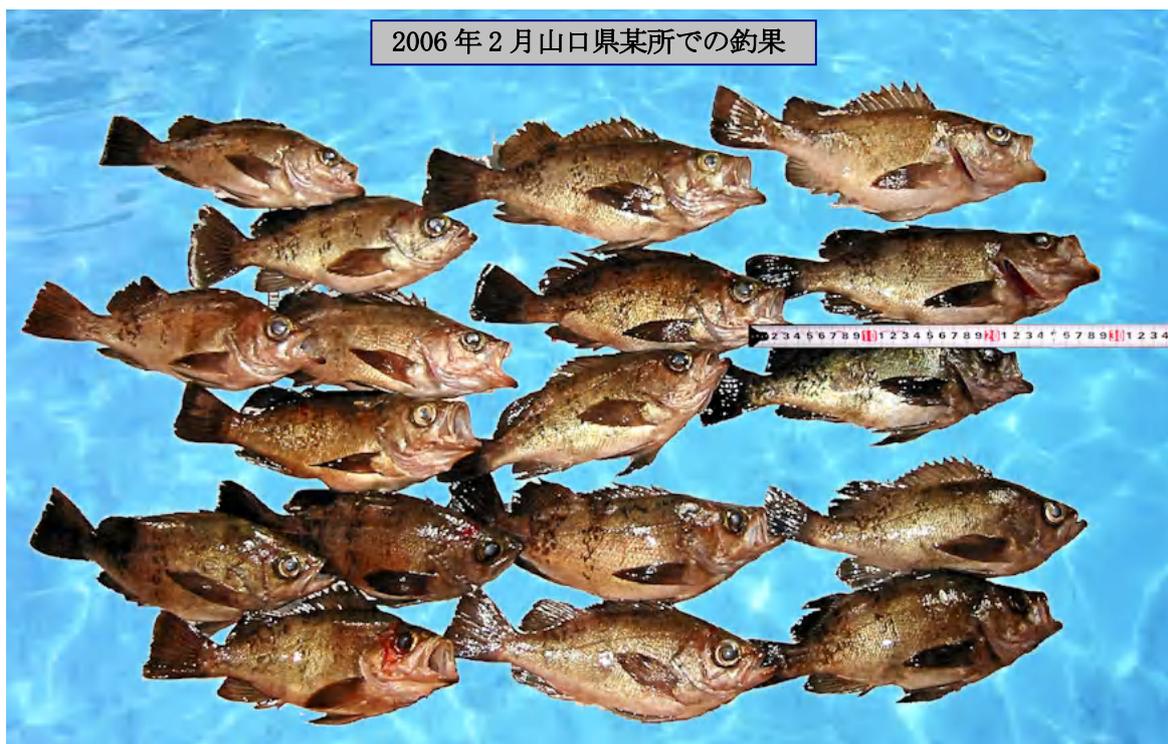
渡辺 潔



山本 慶慈



**※ P.S. 今津君へ：河野慶慈君より「帰広の際は必ず連絡して下さい。皆で飲みましょう」とのことです。**



同期会収支報告 平成17年4月1日～平成18年3月31日

摘 要	収 入	支 出	残 高
前年度からの繰越	304,575		
同期会年会費(105名:過年度分納入3,000円含)	108,000		
舟入・市女同窓会年会費(82名:払込後入金1名)	82,000		
同窓会年会費払込(案内費用控除後)		51,000	
同期会便り印刷・送料他		58,820	
香典(高橋多恵子さん逝去)		10,000	
一般事務経費(通信・事務用品・振込手数料等)		23,663	
計	494,575	143,483	351,092
次年度繰越		351,092	
合 計	494,575	494,575	

平成18年4月3日

以上のとおり平成17年度会計報告をいたします。

会計報告の各項目について関係帳簿により監査の結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。

会 計

渡辺 潔



会計監査

中原信明



訃 報

平成17年8月27日に3年13組の高橋(旧姓 島)多恵子さんが胃癌にて亡くされました。

心よりご冥福をお祈りいたします。

合掌



高橋(旧姓 島)多恵子さん



2000年10月同期会開催時の高橋さん

同期会名簿について

同期会では、同期生への情報提供や会費徴収等のため名簿を作成しておりますが、本名簿は同期会及び同窓会目的以外で使用することはありません。

編集後記

今年も同期会便りを皆様の手元にお送りすることができ、編集に携わった者一同、大変喜んでおります。今後も、同期生の情報紙として充実させていきますので、住所変更・近況等、お気軽に下記まで情報をお知らせ下さい。

なお、重ねてのお願いですが、同期会費ならびに同窓会費につきましてご協力のほどお願いいたします。

末田義博 〒731-0135 広島市安佐南区長束 3-16-6 FAX:082-238-3886 Mail: y-sueda@ms3.megaegg.ne.jp

渡辺 潔 〒730-0847 広島市中区舟入南 6-3-19 FAX:082-231-8727 Mail: kwa@soleil.ocn.ne.jp